

学校だより



お逢う地

R6年度 学校教育目標

しなやかに生きる力を身に付けた生徒の育成

～自分らしく・あなたらしく～



見送りの場面は保護者と手をつないで♪

3月のPICK UP!

3/7 卒業証書

授与式を行いました。卒業生 53 名の凛とした姿、美しい歌声は参加した全員の心に強く残るものとなりました。



相知中では最後の学級活動の後、保護者と手をつないだ卒業生を職員が見送ります。恥ずかしそうに手をつなぐ卒業生と保護者の姿を見送る度に、中学校の教員の醍醐味を感じています。

県立高校の一般選抜試験の日には、国立・私立・県立特別選抜で、すでに合格を勝ち取った生徒が登校し、次の学年に学年のフロアを引き継ぐための美化ボランティアをしてくれました。使った机や椅子の名前シールをはがしたり、トイレや手洗い場をピカピカに磨



いたり。先輩たちのたくさんの思い出を大切にしながら、次年度も歴史を重ねてほしいと思います。

連絡先

電話番号 : 0955-62-2814

WEB サイト :

<https://www.education.saga.jp/hp/ochi-j/>

R7.3.24 第 10 号

文責 校長 牛草 美佳

1 年間頑張りました

本日修了式を行いました。毎日会える子ども達の成長は、案外気付かないものです。それでも職員室では「成長したね。」「大人になったね。」「もう任せられるね。」という会話が飛び交っています。

思春期に入り、家庭では素直な自分を出せない姿もあるかもしれませんが、学校での子ども達は 1 年前とは比べものにならないくらい成長した姿を見せています。

通知表を全生徒分読みました。担任が書いた所見は、子ども達への温かい想いがあふれており、ひとりひとりの成長が目に見えました。学習面での評価に気をとられがちですが、お子様が周りに優しく接していることや、勇気を出して挑戦したこと、粘り強くあきらめずに続けていることなど、人として生きていくために必要な力（非認知能力）が高まっていることを一緒に喜んでいただきたいと思います。

子ども達は自分の頑張りを知っている人が多ければ多いほど、自分を好きになれたり、新しいことに挑戦するエネルギーを蓄えたりすることが出来ます。「ほめるからはじまる。はじめの。」という佐賀県の教育スローガンは、子ども達を大きく羽ばたかせるために、私たち大人がができる最大の教育活動です。本日お届けしています通知表をもとに、お子様と 1 年間の成長を振り返って是非たくさんほめてください。



2 年生の活躍を期待してください

新生徒会が発足して早 4 カ月。すでに先輩を超える立派な姿に、職員みんなで感心しています。

14 年前の 3 月 11 日。忘れられない東日本大震災が起きた日です。相知中では地震発生の 14:46 に生徒会長の青山さんの呼びかけで、放送による黙祷が行われました。

実は、この黙祷は職員から促したものではありません。青山さんが前日に「明日は東日本大震災の起きた日ですが、相知中でも何かした方がよいのではないのだろうか」と担任に相談したことが始まりだと聞いています。

これまでの先輩が積み上げてくれた生徒会は、学校生活の課題に目を向けて、自分たちのアイデアを発信し、大人と協議して改善していくという大きな一歩を踏み出してくれました。

今年の生徒会は、更に進化し、社会の動きにアンテナを張り、自分たちの生活と重ね合わせようという活動をスタートさせています。まさに、ウェルビーイングな世界を実現する思考だと思っています。生徒会長に続き、生徒会会員である全生徒が地域や日本、世界に関心を持ち、自分にできることを探せる大人に成長してほしいと考えています。



生徒会による R7 年度の体育大会のプレゼン。生徒数の減少に伴う応援・マスの改善案について。

相知中生に知っておいてほしいこと

○被爆桜（ひばくざくら）



相知中の中庭には桜が毎年花を咲かせます。これは、昭和20年8月6日、広島で被爆した桜の苗木を安田女子中学高等学校（広島市）からいただいたもので

す。平成20年、相知中にはソフトボール部があり、練習試合や大会を通じて、安田女子中学高等学校と交流があったそうです。そのご縁で安田女子中学高等学校の生徒会が学校にある被爆桜の枝を接木して、苗木を育て、全国の学校に送る取組をされていることを知りました。当時の職員が平和を願う気持ち、被爆してもなお力強く生き抜く桜の姿を相知中の生徒達にも知ってもらいたいと申し出、平成22年と23年に分けてもらったものだと思っています。

相知中にそのような桜が根付くことで、子ども達が平和の大切さをいつも感じるができるよう、どの教室からも見える中庭に植樹されたそうです。

○体育館のグランドピアノ



相知中の体育館には、立派なグランドピアノがあります。入学式や卒業式、合唱コンクールでは毎年体育館中に美しい音色を響かせています。

昨年4月、平山にお住いの波多様が、このピアノにまつわる悲しい物語を教えてくださいました。

当時平山小学校2年生だった7歳の井上慈（めぐみ）さんは、4人姉弟の2番目でした。昭和62年4月28日の朝、平山の事業所に仕事に向かう車にはねられ、その場でお亡くなりになったそうです。慈さんのお母様もその瞬間を目撃されており、大変つらい思いをされたそうです。その時のお母様の泣き叫ぶ声は決して耳から離れないとおっしゃっていました。

ご家族は、本と音楽が大好きだった慈さんを思い、平山小学校に書籍とこのグランドピアノを寄贈されたのだそうです。それから平成15年まで平山小学校で音を奏でていましたが、平山小学校の閉校に伴って、相知中学校へ譲られているようです。（この譲渡の経緯はつかめていません。）R5年に慈さんのお父様が他界され、すでにこのことを知っているのは自分だけになったと話されました。ご家族の方の慈さんへの「生き

ていてほしかった」思いと、慈さんの代わりに、ずっと弾き続けてほしいという思いを知って、ピアノの音色に耳を傾けてほしいと思います。

*相知中学校に勤務する間に、地域の方から、また、校長室にあるたくさんの記録から学んだことがあります。被爆桜とグランドピアノ、ここには示していませんが坊中出身の特攻隊員山田泰治さんのことは、子ども達にずっと語り継いでほしいと思います。

校長室保存の初代浜田校長先生の寄稿文には、開校の昭和22年5月3日に間に合うよう必死に列車を乗り継いで駆け付けられたこと、戦後の混乱の中、教科書が生徒数の半分しかなかったこと、当時の田代町長様と相知町の教育について何回も話し合い、机上を叩いて議論されたことなどが書かれており、教育に携わる者として背筋が伸びる思いでした。余談ですが、本当の校歌の作詞者は、楽譜に記された浜田校長先生ではなく進藤教育長様であったことは、きっと今の生徒達は誰も知らないのではないかと思います。

保護者様、地域の皆様にはたくさんのお力添えを頂いた4年間でした。ありがとうございました。後の2年は29代目の校長を任せていただいたことに心から感謝しています。相知の町の発展と子ども達の活躍をこれからもずっと願っています。

入賞おめでとう

新年書き方会 地区審査
【毛筆】特選 古川柚稀さん・久保心菜さん
入選 井手和羽さん・大草美幸さん
世戸唯愛さん・尾崎心さん
小柳唯花さん・山口昊朗さん
鮎川華音さん・井手亜紀穂さん
西原沙暖さん・居石樹菜さん

【硬筆】入選 古賀碧透さん・秀島乃々佳さん

新春読書感想文コンクール 地区審査
入選 世戸唯愛さん・川下すいさん

佐賀県学童美術展 立体部門
【県審査 特選】 南里優希さん
【県審査 準特選】 中森巧登さん
【支部審査入選】

古賀碧透さん・加唐京佳さん・居石壮馬さん
世戸唯愛さん・江里拓真さん・松本唯沙美さん
小柳唯花さん・平田航己さん・石井大河さん
大草真澄さん・百武愛美さん・小松裕翔さん
大園健人さん・織田絢人さん

唐津ライオンズクラブ俳句川柳コンクール
川柳入選 大園健人さん
俳句入選 大草真澄さん

